

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.11.15-21

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 25:1 シュアハ人ビルダデが答えて言った。
25:2 主権と恐れとは神のもの。
神はその高き所で平和をつくる。
25:3 その軍勢の数ほどのものが
ほかにあろうか。
その光に照らされないものが
だれかいようか。
25:4 人はどうして神の前に
正しくありえようか。
女から生まれた者が、
どうしてきよくありえようか。
25:5 ああ、神の目には
月さえも輝きがなく、星もきよくない。
25:6 ましてうじである人間、
虫けらの人の子はなおさらである。

ビルダデは正しいことを言っていますが、それは一部でしかありません。エペソ書には「2:10 私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。」とも書かれています。

確かに私たちは聖なる神の前にはうじ虫のような存在ですが、しかしまた愛の神は、エペソ所にあるように「2:8...恵みのゆえに、信仰によって救」ってください、尊い行いができ意義のある人生を歩むようになったのです。

偏った人間観を持たないように気をつけましょう。また自分の存在や人生が尊いものであることを感謝し、そのように生きていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶16日 火曜

ヨブ記



だれが、その力ある雷を
聞き分けようか。

- 26:1 ヨブは答えて言った。
26:2 あなたは無力な者を
どのようにして助けたのか。
力のない腕をどのようにして救ったのか。
26:3 知恵のない者をどのようにしていさめ、
豊かなすぐれた知性を示したのか。
26:4 あなたはだれに対して
ことばを告げているのか。
だれの息があなたから出たのか。
- 26:5 死者の霊は、
水とそこに住むものとの下にあって
震える。
26:6 よみも神の前では裸であり、
滅びの淵もおおわれぬ。
26:7 神は北を虚空に張り、
地を何も無い上に掛けられる。
26:8 神は水を濃い雲の中に包まれるが、
その下の雲は裂けない。
26:9 神は御座の面をおおい、
その上に雲を広げ、
26:10 水の面に円を描いて、
光とやみとの境とされた。
26:11 神がしかると、
天の柱は震い、恐れる。
26:12 神は御力によって海をかき立て、
神の英知をもってラハブを打ち砕く。
26:13 その息によって天は晴れ渡り、
御手は逃げる蛇を刺し通す。
26:14 見よ。これらはただ
神の道の外側にすぎない。
私たちはただ、
神についてのささやきしか聞いていない。

ヨブはビルダデに対して、結局誰をも助けてはいないではないかと反論します。彼は友人たちとの議論の中で、絶望し、神に訴え、答えられず、苦しみ、しかし神に希望を見出そうとする…と、いったことを繰り返しながら、少しずつ神様の御心に近づいているようでもあります。

「私たちはただ、神についてのささやきしか聞いていない。だれが、その力ある雷を聞き分けようか。」とは、まさに「なぜ、なぜ」と問うてきた自分に対する答えを、無自覚に述べているようです。」

友人たちも同じことを言いましたがヨブの心に響かないのは、彼らが御心をヨブに適用するのみで、自分のこととして受け止めていなかったからです。

ルカにあるように「6:41 あなたは、兄弟の目にあるちりが見えながら、どうして自分の目にある梁には気がつかないのですか。」のことばを思いながら、自分が方向転換（悔い改め）し、成長することを第一としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶17日 水曜

ヨブ記



なぜ、あなたがたは
全くむなしいことを言うのか。

- 27:1 ヨブはまた、
自分の格言を取り上げて
言った。
- 27:2 私の権利を取り去った神、
私のたましいを苦しめた
全能者をさして誓う。
- 27:3 私の息が私のうちにあり、
神の霊が私の鼻にあるかぎり、
- 27:4 私のくちびるは不正を言わず、
私の舌は決して欺きを告げない。
- 27:5 あなたがたを義と認めることは、
私には絶対にできない。
私は息絶えるまで、
自分の潔白を離さない。
- 27:6 私は自分の義を堅く保って、
手放さない。
私の良心は生涯私を責めはしない。
- 27:7 私の敵は不正をする者のようになれ。
私に立ち向かう者は
よこしまな者のようになれ。
- 27:8 神を敬わない者の望みは
どうなるであろうか。
神が彼を断ち切り、
そのいのちを取り去るときは。
- 27:9 苦しみが彼にふりかかるとき、
神は彼の叫びを聞かれるであろうか。
- 27:10 彼は全能者を彼の喜びとするだろうか。
どんな時にも神を呼ぶだろうか。
- 27:11 私は神の御手について
あなたがたに教えよう。
全能者のもとにあるものを私は隠すまい。
- 27:12 ああ、あなたがたはみな、
それを見たのに、

これまでの流れからいうとツォファルの順番ですが、彼が沈黙していたのでヨブは話始めたようです（前章もヨブの発言なのに、あえて「ヨブはまた…言った」とあることからわかります）。ヨブの気持ちはチャンスとばかりにはやっていたのかもしれませんが。

彼は自分の潔白を主張するとともに、その自分を批判し攻撃する友人たちに呪いともとれることばをかけ始めます（7～8）。彼の論理では当然の気持ちでしょうが、神様から見るならまさにそこもまたヨブの罪です。

私たちは誰も「自分は絶対に間違っていない」と言える者はないのです。むしろ「間違っていない」という思いがサタンに利用され、罪を犯し易いのです。

イエス様は罪のないご自分を殺そうとする人々に対しては、「父よ。彼らをお赦しください。」と祈りなされました。これが「悪くない」者の姿です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 27:13 悪者の神からの分け前、
横暴な者が
全能者から受け取る相続財産は
次のとおりだ。
- 27:14 たとい、彼の子どもたちがふえても、
剣にかかる。
その子孫はパンに飽き足ることはない。
- 27:15 その生き残った者も死んで葬られ、
そのやもめらは泣きもしない。
- 27:16 彼が銀をちりのように積み上げ、
衣装を土のようにたくわえても、
- 27:17 彼がたくわえたものは、
正しい者がこれを着、
銀は、罪のない者が分け取る。
- 27:18 彼はしみが建てるような家を建てる。
それは番人が作る仮小屋のようだ。
- 27:19 富む者が寝ると、もうそれきりだ。
彼が目を開くと、もうそれはない。
- 27:20 恐怖が洪水のように彼を襲い、
夜にはつむじ風が彼を運び去る。
- 27:21 東風が彼を吹き上げると、彼は去り、
彼をそのいる所から吹き払う。
- 27:22 神は容赦なくそれを彼に投げつけ、
彼は御手からなんとかして
のがれようとする。
- 27:23 人々は彼に向かって手をたたき、
彼をあざけて、
そのいる所から追い出す。

ヨブのことはまるでツォファルのヨブに対する非難（20章）のようです。ヨブは彼の代わりに語ることによって、ツォファルの非難が実は彼自身に降りかかっていることを暗示しています。ツォファルたち友人こそ、ヨブが「私の敵は不正

をする者のようになれ。」と言った人々、すなわちここでの「悪者」です。ヨブは事細かにその報いについて述べています。

人への非難はそのまま自分に返って来るものです。また、自分は非難されるところはないと思っ
ていても、非難した人を赦せないという罪がある
のです。ルカによる福音書にあるイエス様のこ
とばを思い出しましょう。

「18:13 取税人は…『神さま。こんな罪人の私を
あわれんでください』 18:14 あなたがたに言うが、
この人が、義と認められて家に帰りました。」

義人であるのは、人の罪をあばく側でもなく、
また自分は間違っていないと主張する側でもなく、
自分の非（罪、足りなさ、不完全さ）を認めて悔
い改められる人です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 28:1 まことに、銀には鉱山があり、
金には精練する所がある。
- 28:2 鉄は土から取られ、
銅は石を溶かして取る。
- 28:3 人はやみを目当てとし、
その隅々にまで行って、
暗やみと暗黒の石を捜し出す。
- 28:4 彼は、人里離れた所に、
縦坑を掘り込み、
行きかう人に忘れられ、
人から離れてそこにぶら下がり、
揺れ動く。
- 28:5 地そのものは、そこから食物を出すが、
その下は火のように沸き返っている。
- 28:6 その石はサファイヤの出るもと、
そのちりには金がある。
- 28:7 その通り道は猛禽も知らず、
はやぶさの目も
これをねらったことがない。
- 28:8 誇り高い獣もこれを踏まず、
たける獅子もここを通ったことがない。
- 28:9 彼は堅い岩に手を加え、
山々をその基からくつがえす。
- 28:10 彼は岩に坑道を切り開き、
その目はすべての宝を見る。
- 28:11 彼は川をせきとめ、
したたることもないようにし、
隠されている物を明るみに持ち出す。

銀、金、鉄、銅、サファイヤなどは非常に価値のあるものです。それらを探取する技術は当時も高く、知恵、経験、知識、精神力を駆使して発見した様子を、ヨブは語ります。そしてそれは、次に述べる「しかし、知恵はどこから見つけ出されるのか」に

続きます。

この世で価値あるとされるものを生産または達成するために、人々は全力を傾け技術を磨きますが、神の知恵はそのような人間の能力によっては見つけられないということです。

ヨブは少しずつ神の絶対的権威について、気づき初めているようです。私たちもこの世の価値あるもの、またそれを得ようとして努力することに敬意を表しながらも、この世のものではない永遠のいのちの絶大なる価値と、そのいのちを与える神の知恵のことばの絶大なる価値を薄めないようにしましょう。

I コリントに、「1:20 知者はどこにいるのですか。学者はどこにいるのですか。この世の議論家はどこにいるのですか。神は、この世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。1:21 事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。」とあるように、主の知恵の前にへりくだりつつ、主の知恵があることに確信を持って、前進してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 28:12 しかし、知恵はどこから見つけ出されるのか。悟りのある所はどこか。
- 28:13 人はその評価ができない。それは生ける者の地では見つけられない。
- 28:14 深い淵は言う。「私の中にはそれはない。」海は言う。「私のところにはない。」
- 28:15 それは純金をもってしても得られない。銀を量ってもその代価とすることができない。
- 28:16 オフィルの金でもその値踏みをすることができず、高価なしまめのうや、サファイヤでもできない。
- 28:17 金も玻璃もこれと並ぶことができず、純金の器とも、これは取り替えられない。
- 28:18 さんごも水晶も言うに足りない。知恵を獲得するのは真珠にまさる。
- 28:19 クシュのトパーズもこれと並ぶことができず、純金でもその値踏みをすることはできない。
- 28:20 では、知恵はどこから来るのか。悟りのある所はどこか。
- 28:21 それはすべての生き物の目に隠され、空の鳥にもわからない。
- 28:22 滅びの淵も、死も言う。「私たちはそのうわさをこの耳で聞いたことがある。」
- 28:23 しかし、神はその道をわきまえておられ、

- 神はその所を知っておられる。
- 28:24 神は地の隅々まで見渡し、天の下をことごとく見られるからだ。
- 28:25 神は風を重くし、水をはかりで量られる。
- 28:26 神は、雨のためにその降り方を決め、いなびかりのために道を決められた。
- 28:27 そのとき、神は知恵を見て、これを見積もり、これを定めて、調べ上げられた。
- 28:28 こうして、神は人に仰せられた。「見よ。主を恐れること、これが知恵である。悪から離れることは悟りである。」

ヨブは友人たちの主張する「知恵」が頼りにならないことを悟り、本当の知恵はこの世にはないことを痛感しました。今は神の答えがなくとも、やはり神の超越的な知恵を求めるしかないのです。そしてそれは簡単に手に入るような安易なものではないと気づきます。

私たちは神様の知恵をいただいています。それは聖書からです。「3:15...聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。」

3:16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」とるあように、ことあるごとに聖書に聞いて、従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 29:1 ヨブはまた、
自分の格言を取り上げて言った。
- 29:2 ああ、できれば、私は、
昔の月日のようであったらよいのに。
神が私を守ってくださった
日々のもようであったらよいのに。
- 29:3 あのと、神のともしびが
私の頭を照らし、
その光によって私はやみを歩いた。
- 29:4 私がまだ壮年であったころ、
神は天幕の私に語りかけてくださった。
全能者がまだ私とともにおられたとき、
私の子もたちは、私の回りにいた。
- 29:6 あのと、私の足跡は乳で洗われ、
岩は私に油の流れを
注ぎ出してくれたのに。
- 29:7 私は町の門に出て行き、
私のすわる所を広場に設けた。
- 29:8 若者たちは私を見て身をひき、
年老いた者も起き上がって立った。
- 29:9 つかさたちは黙ってしまい、
手を口に当てていた。
- 29:10 首長たちの声もひそまり、
その舌は上あごについた。
- 29:11 私について聞いた耳は、私を賞賛し、
私を見た目は、それをあかしした。
- 29:12 それは私が、
助けを叫び求める貧しい者を助け出し、
身寄りのないみなしごを
助け出したからだ。
- 29:13 死にかかっている者の祝福が私に届き、
やもめの心を私は喜ばせた。
- 29:14 私は義をまとい、

義は私をおおった。
私の公義は上着であり、
かぶり物であった。

ヨブは過去の試練に遭う前の自分をなつかしめます。友人は助けにならないこと。今は沈黙しておられても、やはり神の知恵により頼む以外ないことを感じてはいましたが、もう過ぎてしまった日々をどうどう巡りしています。

それは時には私たちの姿ではないでしょうか。子どもの頃や壮年の頃、賞賛や善行など…失ったものばかりに思いが行って、未来に向けなくなってしまいます。

パウロがピリピ書で「3:13 兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕えたなどと考えるはしません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、」と言っています。神は間違っただけを消去したわけではありません。未来に祝福を備えておられるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

